



やまだ かずしげ
山田 一繁

誰もが行きたい所に行き、活動し、
帰って来られる社会の実現に向けて

おでかけタクシー、料金と開始時期は

答弁 タクシー料金の約半額、令和7年4月開始予定

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 新たなモビリティとしての(仮称)おでかけタクシー導入の狙いは。

答 ドアツードア性(自宅のドアを出てから目的地に着くまでのこと)や利用者の時間の自由度が高いため、利便性の高い交通手段であること。

問 協議会で利用状況を調査し、市民の声を集計分析しているが、導入に当たっての課題は。

答 利用者の負担と公金による負担の割合を概ね5対5で検討を進めている。およそ半額で利用できるが、公的負担が増額となることが課題。

問 新たなモビリティを「タクシー」とするうえで、期待される効果は。

答 ドアツードアで利便性の高いタクシーを活用した移動サービスを使いやすくすることで、これまで移動手段が無く、不便を強いられていた市民のおでかけ機会の創出ができるものと期待。市民誰もが行きたい場所に行って、活動して、帰てくることができる環境や、移動が不便な地域でも多様な世代・属性の方が外出しやすい環境を移動面から支えていきたい。

問 多くの市民は一日でも早い実現を望んでいるが、運行開始に向けた進捗状況は。

答 令和7年4月の運行開始に向け、詳細事項について協議を進めているところ。



こやの いつなり
小谷野 五成

定員超過の学童保育室の存在
トイレ男女共用問題について

学童の増設・整備の考えは

答弁 空き教室の活用・改修の機会に整備する

動画で一般質問を
ご覧いただけます



学童保育室の充実について

問 現在、日高市の学童保育室には、740人の児童が通っている。世帯数にすると、市の施設だけで548世帯にのぼる。少子化問題と騒がれている中、学童保育室の需要は年々高まっており、その要因としては共働き家庭の増加が挙げられる。しかし、施設の整備・増設の考えは遅れており、このたび、1,383名の署名とともに、議会に対して、学童保育室の充実を求める陳情書が提出された。

子どもたちの安心安全、子育て世代の暮らしやすさを考えるのであれば、整備と増設は欠かせないものとする。施設整備・増設の考えとは。

答 これまでも、定員を超える事が見込まれるたびに、増設を行ってきており、今後の対応としては、小学校・義務教育学校のクラス減少によって余裕教室が生じた場合、活用を検討していく。また、整備に関しては、老朽化によって改修工事を行う機会があれば、検討していく。

今後とも保育環境の改善を図ってまいりたい。



トイレ男女共用問題



10年以上屋根の破損